学校番号	414

令和８年度　看護科

教科	看護	科目	(学)看護演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

看護職（医療従事者）が専門職としてより質の高い看護を提供するためには、深い知識と確実な看護技術だけでなく、高い倫理性が必要不可欠です。
　授業を通して豊かな人間性を育み、専門職として自らの行動を律することができる人材をめざしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
講義形式の授業を通して、看護に必要な心構えと、深い知識や確実な看護技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
自分の意見を発表することで、実践的なコミュニケーション力を養う。臨床現場において必要となる知識を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
医療に携わる者として、実習や体験授業等に積極的に取り組む態度をもつ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・将来、医療従事者として必要となるコミュニケーション力や看護倫理を、身につけているか。 ・専門用語について正しく理解しているか	・看護・医療に関わる様々な人との交流を通し、医療従事者にとって必要な力とは何かについて、自ら思考することができているか。 ・授業を通して考えたことや、身に付けた自身の看護観について、発表することができるか。 ・他者の意見や考えを傾聴する姿勢を身に付けているか。また、そのうえで自身の考えを深めることができているか。	・看護、医療分野に興味、関心を持ち、外部講師を招いての講義や、実習、体験授業に対して積極的に取り組むことができているか。 ・指示されたことだけでなく、授業内で重要だと感じたポイントについては主体的にメモを取り、知識や技術を習得しようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	看護倫理①	1、コミュニケーションの技法 2、パーソン・センタード・ケア 3、エンド・オブ・ライフ・ケア 4、ユマニチュードの大切さ 5、バイスティック 6、ナイチンゲール 7、ガン当事者の体験談から学ぶ	a:それぞれの言葉の意味を正しく理解している。また、習得したコミュニケーション技法を実践している。 b:授業を通して身に付けた自身の看護観について考え、発表することができる。また、他者の意見や考えを傾聴する姿勢を身に付けている。 c:医療従事者として必要な倫理観を高めるために、授業中に自らメモを取るなど、積極的な姿勢で授業に取り組んでいる。	ワークシート、発表、定期テスト	ワークシート、発表、作文、定期テスト	行動の観察、発表
2	看護倫理②	1、解剖整理 2、情報収集 3、看護過程 4、バイタルサイン 5、認知症サポーター養成講座 6、リハビリテーション 7、ボディメカニクス	a:専門的な言葉の意味や、医療従事者にとって必要不可欠な基礎知識について、正しく理解している。 b:授業を通してインプットした学びを、自分の言葉でアウトプットすることができる。また、他者の意見や考えを傾聴する姿勢を身に付けている。 c:患者や対象者との関わり方について、実践的に学ぼうとしている。また、将来関わることとなる傷病者に対する理解を、積極的に深めようとしている。	ワークシート、発表、定期テスト	ワークシート、発表、課題、定期テスト	行動の観察、発表

3	看護倫理③	1、生活習慣病 2、命と植物の関係 3、食事の意義 4、1年間のまとめ（自己覚知）	a:生活習慣病や、植物・食事と生命の関係について、正しく理解している。また、病気の予防のためには何が重要かについて、正しい知識を習得している。 b:植物や食事といった身近な観点から、自身の生活や人生と関連付けて生命について考えることができている。また、一年を通して身に付いた学びを、自分の言葉でまとめることができる。 c:農業体験に積極的に取り組み、実践的な学びを得ようとしている。また、一年を通して学んだことを、卒業後につなげていこうとする意欲を持っている。	ワークシート、発表	ワークシート、発表、課題	行動の観察、体験活動、発表

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度